

ほこた 社協だより

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL0291-32-5831
ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>

第 48 号

平成26年3月31日発行

発行 者

社会福祉法人
銚田市社会福祉協議会
会 長 鬼 沢 保 平

編 集 者

調査広報 委員 長 中 島 庸 介



ねらえ！ホールインワン！！ グラウンドゴルフ大会



二月二十七日（木）銚田市高齢者クラブ連合会主催による「グラウンドゴルフ大会」が、銚田総合公園で開催されました。

この事業は高齢者の健康増進、相互交流、グラウンドゴルフの普及を図ることを目的に行われ、一九九名の高齢者クラブ会員が集まりました。

グラウンドゴルフは、ホールポストを立てるだけなので、どこでもプレイでき、ルールも簡単で、1ラウンド8ホールと手軽にスポーツを楽しめるため、高齢者のニュースポーツとして競技人口を増やしています。

当日の天候は、あいにくの曇り空で小雨が降る時間帯もありましたが、参加した選手の方々は真剣な眼差しでプレイしていました。三十三名の選手がホールインワンを達成し、各ホールから歓声が聞こえてきました。

3ラウンド計24ホールをプレイし、優勝スコアは53打でした。閉会式では入賞した選手を表彰し盛大に大会を実施することができました。今後モスポーツを通し、楽しく健康の保持・増進を図っていただきたいと思えます。



ともえ荘運営委員会

委員長
飯塚 経廣



委員長
築場 吉法

ボランティア活動
センター運営委員会



委員長
中島 庸介

調査広報委員会



委員長
長峯 薫

企画財政委員会



会 長
鬼沢 保平

銚田市社会福祉協議会役員・委員

評議員

岩米川 倉川 飯塚 大盛 米川 宗勝
岩米川 宗勝 飯塚 大盛
岩米川 宗勝 飯塚 大盛
岩米川 宗勝 飯塚 大盛
(勝下) (大札) (大札)

監事

渡部 小島 渡部 啓一
渡部 啓一 渡部 啓一
渡部 啓一 渡部 啓一
渡部 啓一 渡部 啓一
(鹿柳田) (青柳田)

常務理事

岡崎 正元 飯塚 武夫 長峯 武夫 青野 正男 大貫 誠子 大槻 明子 菅谷 与志雄 菅野 吉生 飯島 行雄 中山 太義子 平沼 政徳 鬼口 保平

理事

岡崎 正元 飯塚 武夫 長峯 武夫 青野 正男 大貫 誠子 大槻 明子 菅谷 与志雄 菅野 吉生 飯島 行雄 中山 太義子 平沼 政徳 鬼口 保平
(青柳田) (箕輪上) (汲ヶ崎) (塔ヶ崎) (銚田) (柏熊) (当塚) (安上) (銚田) (造谷) (徳宿) (滝浜) (徳宿)

理事

中山 太義子 平沼 政徳 鬼口 保平 植田 勇治 寺西 雄治 藤枝 子雄 野村 達也 渡辺 千嘉子 田山 敏弘 田口 美佐子 高栖 守子 風間 信子 磯山 博信 山崎 泰子 眞家 信子 遠藤 弘市 遠藤 忠弘 捷史 博史 津間 典史 大津 史典 米川 博典 上野 良典 小沼 裕広 長沼 孝裕 高峰 孝裕 高正 孝行 横田 行夫 市村 ひろみ 福田 吉夫 築島 吉夫 中島 吉夫 竹内 武夫 関根 礼子 堀内 礼子 新堀 正子 小沼 多恵子 小室 紀代 榊原 とき子 関 俊夫 中島 隆勝 中島 庸介

調査広報委員会

井郷 智恵子 中根 正子 大山 正子 加藤 正子 平沼 和子 藤枝 礼子 飯島 聡子 新堀 正子 小沼 多恵子 小室 紀代 榊原 とき子 関 俊夫 中島 隆勝 中島 庸介
(汲上) (江川) (安房) (常盤) (大竹) (鳥栖) (汲上) (菅野谷) (銚田) (二重作) (安房) (箕輪) (塔ヶ崎)

企画財政委員会

田山 敏弘 梶山 知英子 米川 正典 中山 太喜子 飯島 武夫 藤枝 礼子 龜山 彰洋 北澤 洋 大庭 作蔵 菅谷 与志雄 飯塚 經廣 平沼 政義 長峯 薫
(銚田) (梶山) (子生) (徳宿) (汲上) (鳥栖) (箕輪) (上富田) (大竹) (滝浜) (塔ヶ崎)

ともえ荘運営委員会



飯塚 経廣 大貫 誠子 竹内 武夫 風間 守夫 横田 廣夫 上野 忠夫 磯野 榮夫 福田 ひろみ 門倉 榮子 勢子 飯塚 経廣 大貫 誠子 竹内 武夫 風間 守夫 横田 廣夫 上野 忠夫 磯野 榮夫 福田 ひろみ 門倉 榮子 勢子
(大竹) (柏熊) (造谷) (中居) (安房) (梶山) (烟田) (舟木) (梶山)

ボランティア活動センター運営委員会

高栖 美佐子 関根 源三 山口 泰子 大槻 俊子 長峯 正俊 上吉原 由紀江 飯島 節子 細野 良治 磯山 博信
(烟田) (上釜) (徳宿) (当塚) (箕輪) (大蔵) (安房)

◎ 委員長 ○ 副委員長

第2次銚田市地域福祉活動計画を策定しました!!

平成26年度から平成30年度までの5年間の方向性や取り組みを示す計画です。

基本理念 「一人ひとりが主役となり、ともに作る、ふれあいとささえあいのまち・ほこた」

社協ではさまざまな福祉の課題に対して行政と連携し、柔軟な取り組みに対応することにより、次の基本目標に向けて地域福祉の推進を図ります。

- 基本目標1** 気づく → 地域や健康、福祉について一人ひとりが考える機会を確保する。
- 基本目標2** 育てる → 地域で活動する人材や組織を育成する。
- 基本目標3** つなげる → 地域での相互交流の活性化を図る。
- 基本目標4** 支え合う → 適切なサービス利用促進を図る。

※活動計画の本編及び概要版は、社協のホームページ及び社協本所支所等で閲覧が可能です。

社会福祉協議会が取り組む主な活動内容

周知・啓発事業

- ※ 広報紙の発行
- ※ ホームページの運営
- ※ 社会福祉大会事業

自主財源の確保

- ※ 会員の加入促進
- ※ 赤い羽根共同募金運動
- ※ 善意銀行の運営

ボランティアの育成と活動推進事業

- ※ ボランティアスキルアップ講座
- ※ ボランティア専門講座
- ※ 福祉体験支援事業

児童福祉推進事業

- ※ 福祉作文コンクール事業
- ※ 星空映画会事業
- ※ ファミリーサポートセンター事業
- ※ ウェルフェアサマースクール

障害者福祉推進事業

- ※ スマイルフェスティバルINほこた
- ※ 地域活動支援センター「のぞみ」「スマイルハウス」運営

高齢者福祉推進事業

- ※ 車いす等貸出事業
- ※ 介護用品支給事業
- ※ ひとり暮らし高齢者サロン事業
- ※ 高齢者の健康づくり推進事業



母子・父子家庭福祉推進事業

- ※ 新入学児童祝金事業

低所得者福祉推進事業

- ※ 緊急食料貸付支援事業
- ※ 緊急入院時用具支給事業
- ※ 生活福祉資金貸付事業

地域・在宅福祉推進事業

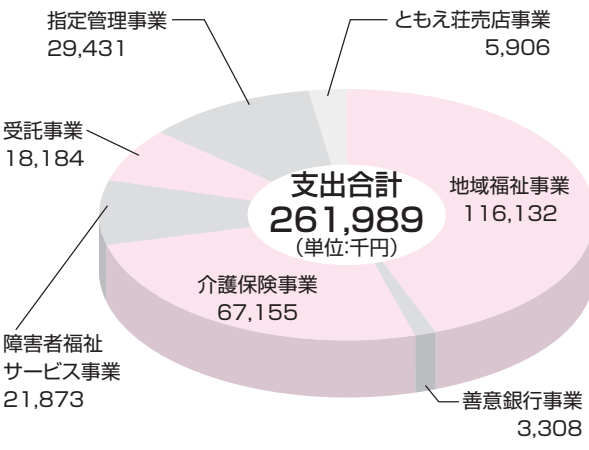
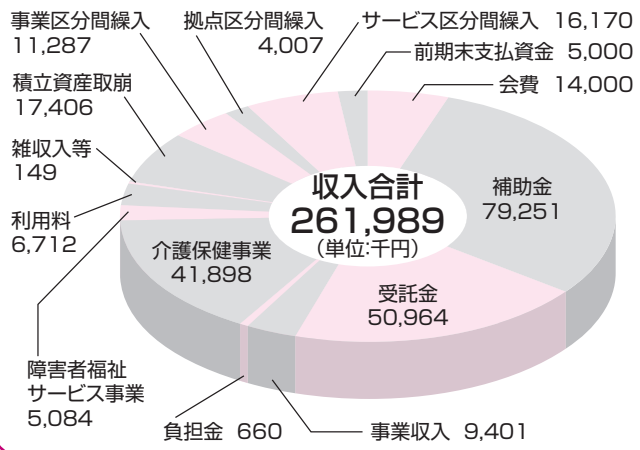
- ※ 心配ごと相談事業
- ※ 日常生活自立支援事業
- ※ 地域福祉活動推進費助成事業
- ※ 老人福祉センター運営事業

介護保険・障害者総合支援等事業

- ※ 居宅介護支援事業
- ※ 訪問介護事業
- ※ 指定特定相談支援事業



平成26年度 銚田市社会福祉協議会予算



福祉の「め」

福祉について 学んだこと



青柳小 5年
真 家 智 恵

考えるようになりました。

次に、福祉施設を訪問しました。施設のお年寄りの方々は、体が不自由な方も多く、車いすを使われている方もいました。その中で、私が強く心をひかれたのは、みなさんの笑顔が輝いていたことです。そこで、お年寄りの方々に、一番幸せなことは何か聞いてみると、「ここにいられること」「仲間と会話できること」「介護士さんに助けてもらい食事ができること」などと答えてくれました。会話や食事は、私にとって普通のこと。車いすも、介護士さんの手助けも必要ないし…。しかし、こうした普通のこと、みなさんにとっては必要だったのです。

総合的な学習の時間に、福祉について学ぶことになりましたが、私には福祉というものが全くわかりませんでした。そこで、体験活動などを通して考えていくことにしました。学校で行われたインスタントシニア体験では、体に重いやゴーグルをつけて、体が不自由な状態を体験しました。今まであたり前のようにできていたことが思うようにできず、細かい気持ちになり、自分がかような状態になったらと考えると、こわくなりました。その体験の中で、困った人がいたら進んで助けたいと

学校で、福祉の意味について調べました。福祉とは、人が幸せに、よりよく生きるために必要なこと。そして、幸せとは、食事や会話、学習など、私たちがあたり前のよう

にしていることだとわかりました。それがあたり前のようにはできないから、様々な手助けが必要なのです。そして、みんなでよりよい社会を作っていくことが福祉なのです。そう考えると、私にも福祉は必要なことです。私は、今車で車いすを使っている方や介護を受けている方を見ると、

福祉体験を通して



野友小 5年
根 本 太 貴

総合的な学習の時間に、体の不自由な人の気持ちを理解するため、三つの福祉体験を行いました。

一つ目は車いす体験です。タイヤをうまく動かすことができず、せまい道やぬかるんだ場所では進むのが困難だということが分かりました。階段では、友達に持ち上げてもら

「かわいそう」と思っていました。しかし、あたり前のように生きるために、必要だから福祉を受けている、と考えられるようになりました。私には、介護士になりたいという夢ができたので、相手の方が何を必要としているのかを考えていきたいと思います。

らいました。車いすはとても重く、四人がかりでも大変そうでした。はじめは、落ちてしまいたいという不安でしたが、真剣な表情で車いすを持ち上げてくれる友達を見て、とてもありがたい気持ちになりました。もし車いすの人を見かけたら、何ができるのか考えて行動に移したいです。

二つ目のアイマスク体験では、よく知っている学校の中でも、目が見えないとどこにいるのか全く分からなくなり、ついで探りながら歩くのは本当にこわかったです。このときは、先に何があるのかの説明や、「だいじょうぶですよ」という優しい声かけによって不安が少なくなることを実感

しました。

三つ目のインスタントシニア体験では、見えにくくなるゴーグルをかけ、手足にはおもりをつけました。階段を上ろうとしたら、体が重く足下もぼやけてしまい大変でした。手足が不自由な人はこんなにも不便を感じるんだということがよく分かりました。ぼくの祖父は、以前、階段をふみ外し両腕を骨折してしまっただけではありません。やはり筋力が低下してしまっただけなのではないでしょうか。退院後も洋服のぬぎ着や食事などの介助が必要で、とてもつらそうでした。その頃のぼくは、祖父がトイレに行きたくなったり、母に知らせることくらいしかできませんでした。

ぼくは、福祉体験をしたことで、初めて、体が不自由な人や高齢者の行動面や精神面での大変さについて理解することができました。これからは、もつと祖父の手助けをするとともに、町で困っている人を見かけたら、進んで声をかけてあげたいです。

体験から 学んだこと



5年 光
小 野 晴
高 野 串

ぼくは、お年寄りの方がどんな生活をしているのか考えたことがありませんでした。でも、福祉の学習でインスタントシニア体験をしてから、少しずつ考えるようになりました。

この体験は、体にいろいろな物をつけ、お年寄りの方と似たような体験をするものです。校舎の中を回りましたが、むずかしいことや、危険なことの連続でした。まず階段です。いつもは何の苦労もなく上り下りしていましたが、ひざが曲がらないように固定されているのでうまくあげられません。また、足首におもりがついているので足があがらず、たまに落ちそうになりました。お年寄りの

方は、階段をのぼるのにも苦労しているのだと感じました。

黒板に書いてある字を読む時も大変でした。いつもならかんたんに読めるのに、ゴーストをして読めるために、ゴーストを寄つていってもぼんやりと見えるだけです。それに、色の区別もつきませんでした。

その他にも、図書室で本を読もうとしましたが、指にテープがまいてあるのでうまくページがめくれません。水道の水で手を洗ってみました。冷たさを感じません。もし、これが熱湯だったらと思うとぞつとしました。体育館にもどつてきた時には、つかれてぐつたりとしまいいました。

この体験を通して分かったことが二つあります。

一つは、お年寄りの方の生活がとて大変だということです。ぼくにとつては何げない動作が不便でつかれるということです。

もう一つは、生活して不安になることがあるということです。階段から落ちそう

になると危険がある中で生活しなければならぬということですね。

ぼくは、お年寄りの方の生活の大変さや不安な気持ちをどうにかしたいと思いました。そのために、ぼくに何ができるのだろう。まずは、お年寄りの方に声をかけることから始めたいと思います。声をかけ、何かお手伝いすることができたなら…。助け合うことの大切さを感じました。

福祉について



6年 織
小 舞 舞
大 槻 舞

私は、体が不自由な人が、どのように生活をしているのか、その事でどんな気持ちになつていのかと思ひ、福祉について学びました。

今までは、障害のある人達に会うと、どうしよう、どう

やって話をしようとまよつたり、結局知らないふりをしてしまつたりしていたかもしれせん。目の前に待つている人がいたら、どうしたのかな。何か出来ることはないかなと

考え、すぐに話しかけると思ひます。でも、どうして障害のある人には、そんな事が自然にできなくなるのだろうと思ひます。それは、自分とはちがうという見方をしているからだと思ひます。そこが、まちがつていふ事に気がつきました。

ある本の中で障害のある人が、

「体が不自由な人は、周りに助けってもらわなければ出来ないこともある。そんな時に、自分の思いや、してほしい事をちゃんと伝える事はできる。でも、いざ外出した際に、だれかに何かをたのんだ時のいろいろな反応を思うと、言い出せないときがある。もちろん気持ちよく受け入れてくれる人もいふ。そんな人に出会ふと感謝の気持ちが出てくる。でも中には、いやという気持ちで顔に出してしまつていふ人

もいふ。そんな時はとても悲しくなるんだ。だけど、思いを伝える事は、とても大切なんだよ。」

と言つていました。私はそういった気持ちを少しでもやわらげてあげたいと思ひました。人は、困難にあつると、おたがいに助け合ひ、はげま合つて生活しています。ふつうの生活では、それが当たり前のように出来ていても、その人が障害があるというだけで、深く考へて構へてしまひます。やつてあげるといふ自分がついて、障害のある人に対して上から目線で見つてしまつたのかもしれない。

人間はみな同じです。障害がある人もない人も関係なく接することが大切だと思ひます。



ボランティア紹介

鉾田舞踊クラブ

鉾田舞踊クラブは、会員十余名です。各流派で個々に稽古をしながらも、ボランティア活動に参加するため、鉾田中央公民館で毎月第一・第三金曜日の午後一時から午後四時まで、音頭物や歌謡舞踊の団体稽古をしています。

主な活動として、独居老人食事会、グループホームお楽しみ会、特別養護老人ホーム納涼祭、また市の文化祭、市民舞踊祭り、県わくわく財団鹿行発表会に参加しております。

各場所でのふれあいは、「ありがとう。私も昔踊ってたよ。」と手を握り返され、長い人生を歩んで来た方々からは、沢山のものを学び、貴重な時間です。逆に元気をいただいております。

研修面は、ボランティア研修会、県芸術祭各流発表会、会員のそれぞれの発表会、各地域の発表会、これも流派を問わず、舞はもろんのこ

と、舞台、衣装と目の保養を兼ねて楽しんでおります。

しかし、会員の増加が切実な望みです。是非、ボランティア活動を通して、福祉に対する理解を深めたい方「老若男女」を問わず、お待ちしております。

小さな出会いが多くの人たちの幸せの一部と感じていただけると、会員と協力し合い、継続して行うのも後輩への道標となると頑張っております。


代表 福田 ひろみ



●●●新ボランティア団体が誕生しました!●●●


ラ・ポール (信頼)

- 代表者：川高 康郷
- 設立：平成25年12月26日
- 会員数：3名 (会員募集中)
- 活動場所：テイサービスセンター「坂本さんち」(大洋地区)
- 活動日：月・1回 第2木曜日
- 活動内容：市内施設「坂本さんち」を訪問し、高齢者を対象に傾聴活動を行っています。



鉾田おんやく


- 代表者：横須賀 弘子
- 設立：平成26年3月21日
- 会員数：10名 (講習会を修了した方)
- 活動場所：鉾田市立図書館・鉾田市社会福祉協議会 鉾田本所
- 活動日：未定
- 活動内容：社協だよりをはじめ、録音図書を作成し視覚障害の方へ声の情報をお届けします。リクエスト本等がある場合も音訳いたします。



募集 声の広報 利用してみませんか? 声の広報

「声の広報」とは、視覚に障害のある方へ、市の「広報ほこた」、社会福祉協議会からの「社協だより」をボランティアの声でCDに録音し、郵送するサービスです。視覚障害の手帳をお持ちの方が利用でき、料金はかかりません。ご家族やお友達で該当の方がいましたら、ぜひご利用をお勧め下さい。

詳しくは、社会福祉協議会までお問い合わせください。 TEL : 32-5831



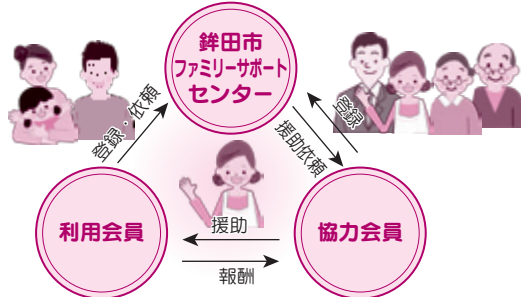
お 知 ら せ

（（ 銚田市ファミリーサポートセンター会員募集 ））

○ 銚田市ファミリーサポートセンターとは…

子育ての手助けをしてほしい方(利用会員)と子育ての手助けができる方(協力会員)が会員となり、相互援助活動を行います。

センターのしくみ



利用料金

基本活動日 月曜日～金曜日 午前7時～午後7時
1時間あたり：700円
基本活動日外 (年末年始は除く) 土・日・祝日 早朝・夜間
1時間あたり：800円

○ 援助活動の内容

- ☆ 保育園・幼稚園等の送迎
- ☆ 保育園等の休園日等の預かり
- ☆ 保育園・幼稚園等の保育開始までと帰宅後の預かり
- ☆ 学童保育からの帰宅後の預かり
- ☆ 子どもの病気(軽度)時の預かり

（（ 心配ごと相談所を開設しています ）） ※事前予約制

○ 弁護士による無料相談です。
(相談時間は15分)

○ 開設時間：
午前10時45分～午後3時00分

※各定員13名になり次第締め切りとさせていただきます。

地 区	銚田地区	旭地区	大洋地区
開催場所	銚田中央公民館	学習等供用施設	大洋公民館
相 談 日	4/17・7/17 10/16・1/15	5/15・8/21 11/20・2/19	6/19・9/18 12/18・3/19
	弁護士相談日は第3木曜日に実施します。		



銚田市高齢者いきいきスポーツ大会

地区大会
参加者募集

- 参加資格 市内在住で60歳以上の健康な方 ※高齢者クラブ会員は、支部の高齢者クラブ連合会からお申込みください。
- 参加費 200円

《銚田地区大会》

日 時 5月29日(木) 9:00～
場 所 銚田総合公園
種 目 輪投げ・クローカー・ペタンク・ゲートボール・グラウンドゴルフ
申込締切 5月16日(金)

《旭地区大会》

日 時 5月14日(水) 9:00～
5月21日(水) 9:00～
場 所 旭スポーツセンター
種 目 (5/14) グラウンドゴルフ・輪投げ・クローカー (5/21) ペタンク
申込締切 5月2日(金)

《大洋地区大会》

日 時 5月15日(木) 9:00～
6月5日(木) 9:00～
場 所 大洋運動公園
種 目 ①(5/15) グラウンドゴルフ・輪投げ ②(6/5) クローカー・ペタンク
申込締切 ①5月7日(水) ②5月28日(水)

問合せ・申込先

銚田市社会福祉協議会
銚田本所 ☎32-5831

旭支所 ☎37-3571
大洋支所 ☎34-5200

多くの善意を ありがとう

期間：1月11日～3月10日現在

善 意 金

福祉一般へ預託

- 大盛 幹雄さん 50,000円
- 新生会 代表 桐生英佐代 69,303円
- 銚田地区民生委員児童委員協議会 (2月分) 5,195円

- 銚田地区民生委員児童委員協議会 (3月分) 3,366円
 - 鹿島灘海浜公園 3,708円
 - 匿名 21,768円
- 福祉基金へ預託
- 銚田市女性連絡協議会 80,268円



善 意 品

- 篠原 幸男さん ちりとり 8個
- 旭地区民生委員児童委員協議会 文房具(ボールペン、蛍光ペン、筆ペン等)
- 使用済み切手・テレホンカード 高塚 真樹子さん・菅谷 勲さん・フロンティア銚田春の場所・税務課・健康増進課・福祉事務所・銚田地区民生委員児童委員協議会(2月)・銚田地区民生委員児童委員協議会(3月)・茨城県土地開発公社・東関東自動車道用地室・匿名

平成25年度 赤い羽根共同募金運動実績報告

社協だより47号「平成25年度赤い羽根共同募金運動」実績について報告を行いました。追加がありましたので報告いたします。

戸別募金	9,163,250円
募金総額	12,336,298円



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

保育所(園)・幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切な事です。

市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「四季」

一年を通して、季節毎に行事なども含めどんな事があったか思い出したり、イメージを話し合っって作品を仕上げていきました。

旭保育園
4才児

「笑顔の木」

一人の手は小さな手だけど、みんなの手が集まればこんなに素敵なものになるんだね。手と手を取り合っって素敵な笑顔を咲かせよう...

あかつき保育園

きりん組



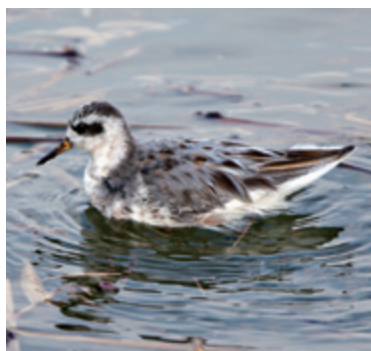
季節のたより 野鳥の話 最終回

セイタカシギ…「セイタカシギ科」

漢字では、「丈高鷗」と書く。

文字通り「背丈の高いシギ」である。写真からも分かる通り、脚が異様に長い。この長い脚は、浅瀬などで餌を捕るときに有利にはたらく。ちなみに、この長くて細い脚と竹馬に乗っているような歩き方から、本種の英名は、SNIPE(竹馬)である。また、学名(ラテン語表記の世界共通名称)も、ギリシャ語由来の「細くて平ひものような脚」から命名されている。いずれも異様に長い脚が関係している。

当地方では、旅鳥として北浦湖畔などの水辺を通過するが、数は少ない。



ハイイロヒレアシシギ…「シギ科」

漢字では、「灰色鰭足鷗」と書く。こちらでも文字通り「体が灰色で鰭のある足をもったシギ」の意である。ただし、灰色は冬羽である。夏羽は、体の大部分が赤褐色に変化する。冬羽が種名になっているのは珍しい。

ヒレアシシギの仲間には、繁殖期の雌雄の役割が一般種とは逆で、夏羽はメスの方がオスより鮮やかで美しい。この仲間は、足の指にヒレがあり水面を泳いで採餌する。特に本種は、海洋性の鳥で沖合に生息し、通常は、旅鳥として沖合を通過する。海が荒れたりすると、北浦等に飛来することもあるが数は少ない。

川又利彦



銚田市社協
ホームページのお知らせ

社協では、福祉に関する活動を市民の皆さまにより理解していただくためホームページを開設しています。ぜひ、閲覧してください。

URL <http://www.hokotashakyo.or.jp> (「銚田市社会福祉協議会」で検索できます。)